

2017年 10月 31日

三菱総研DCS株式会社

## 三菱総研DCS「CMMI-DEV」成熟度レベル5を達成

三菱総研DCS株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:円実 稔/以下、DCS)は、2017年9月15日、「CMMI-DEV」(開発のためのCMMI)の最高水準となるレベル5を、全システム開発部門および支援部門(含む、東北ディーシーエス株式会社とHRソリューションDCS株式会社によって支援されるプロジェクト)で達成しました。

DCSは、2006年に標準プロセスとして「DCS開発標準」を制度化し、システム開発の品質と生産性の向上、並びにそれらの継続的な改善を実現するため、グローバルスタンダードであるCMMI<sup>®</sup>をモデルにソフトウェア開発プロセスの改善に取り組んでまいりました。

その結果、2008年にレベル3を、2011年・2014年にはレベル4を達成し、更にプロセス改善に取り組んだ結果、今回、「CMMI-DEV Ver.1.3」の最高位であるレベル5の達成となりました。

現在、日本国内でレベル5を達成している企業は、当社を含め8社。そのうち全社レベルでの達成は3社で、2千人を超える規模の企業では当社のみです。

DCSでは、開発プロセスの継続的な改善に取り組むと共に、今回のレベル5達成を契機として、これまで以上にお客様の発展に寄与すべく、より高品質なシステム・サービスを提供してまいります。



\* CMMI(Capability Maturity Model Integration: 能力成熟度モデル統合)  
米カーネギーメロン大学ソフトウェア工学研究所(SEI)により、統計情報として収集したケーススタディに基づいてまとめられたプロセス成熟度モデルです。

\* CMMIは、米国 Clearmodel, LLC の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

■ 本件に関する問合せ先

三菱総研DCS株式会社

〒140-8506 東京都品川区東品川四丁目12番2号

総合企画部(広報担当)木村 TEL:03-3458-8214